

1 概況

冷蔵網は1から3回目、秋芽網は3から6回目の摘採をしています。冷蔵網のクモりは終息傾向で、あかぐされ病は水温の低下とともにほぼ終息しました。一方、降雨がほとんどなく、植物プランクトン(スケルトネマ)が三河湾で増加しているため、栄養塩が一部地区で減少しています。また、黒潮内側反流の影響により、水温は平年よりもやや高い状況が継続しており、潮位も1から2号ほど高く推移しています。小潮周りに入るうえ、潮位は引き続き高い予測も出ており、今後伸び足がつくと思われます。栄養塩の急激な回復は期待できないため、葉体の色があるうちに摘採しましょう。

2 気象・海況

<水温> 1月24日

1~3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	7.6 °C
	平年差	+0.5 °C

<水温> 1月25日

漁生研 (-3.0m)	10時水温	10.4 °C
	平年差	+0.7 °C

<潮位> 1月24日

名古屋港 (TDL)	平均	134 cm
	偏差	+10 cm

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西部地区	中部:多い、北・南部:少ない	なし	植物プランクトンは散見~ほとんどいない。
知多東部地区	中部:やや多い、南・島嶼部:少ない	なし	植物プランクトンは散見~ほとんどいない。
西三河地区	中部:やや多い、西・東部:やや少ない~少ない	東部地先	植物プランクトンは多い~ほとんどいない。
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い:121~、やや多い:81~120、やや少ない:41~80、少ない:~40

<気温動向の予測> (気象庁予報より)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、期間のはじめは平年並か平年より低く、中頃からは平年並か平年より高いでしょう。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病・障害 その他
知多西部地区	冷蔵:1~3回 秋芽:5回	冷蔵:300~1,000枚 秋芽:700~800枚	概ね良好	カモ	スミノリ症終息傾向
知多東部地区	秋芽:4~6回	500~1,000枚	概ね良好	なし	一部で付着珪藻
西三河地区	冷蔵:3回	100~700枚	良好、一部色浅め	カモ少し	一部でクモリ
東三河地区	秋芽:3回	1,000~2,000枚	概ね良好	カモ少し	一部で付着珪藻

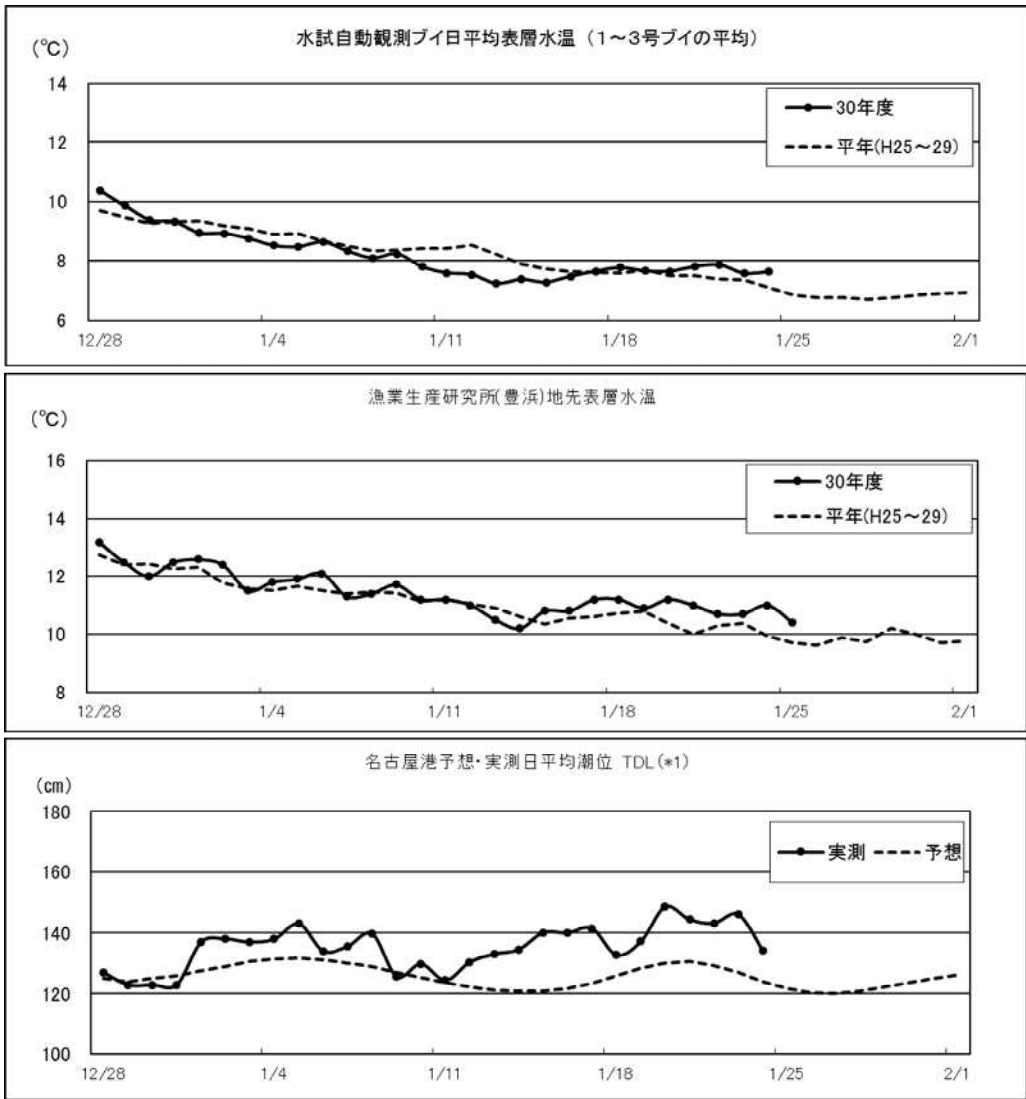
4 今後の管理

- ① 病害等の予防のため、潮位変動に留意しながら適正干出等の養殖管理を行い、製品の向上に努めること。
- ② 植物プランクトンが増加傾向で、栄養塩が減少傾向の漁場では、早期摘採により色落ちの軽減・防止に努めること。
- ③ 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

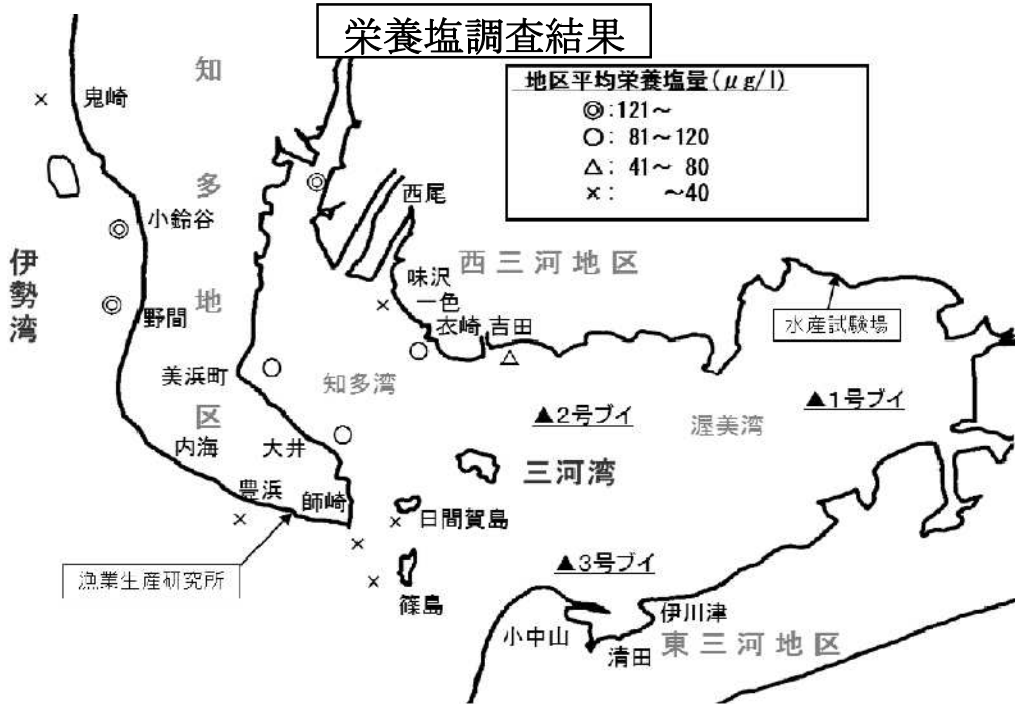
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <http://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は2月1日(金)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



*1 名古屋港潮位表基準面からの高さ。名古屋港潮位表基準面は、NP(名古屋港基準面)より4.3cm高い基準面。



栄養塩調査日: 知多、西三河: 1月24日 (木)
調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会